

平成18年2月分電力需給状況

需要の概要

平成18年2月の販売電力量は、23億5千5百万kWh時、前年比102.0%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」、事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、それぞれ前年比101.7%、101.2%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、化学、機械などが前年を上回ったことから、前年比105.8%となった。

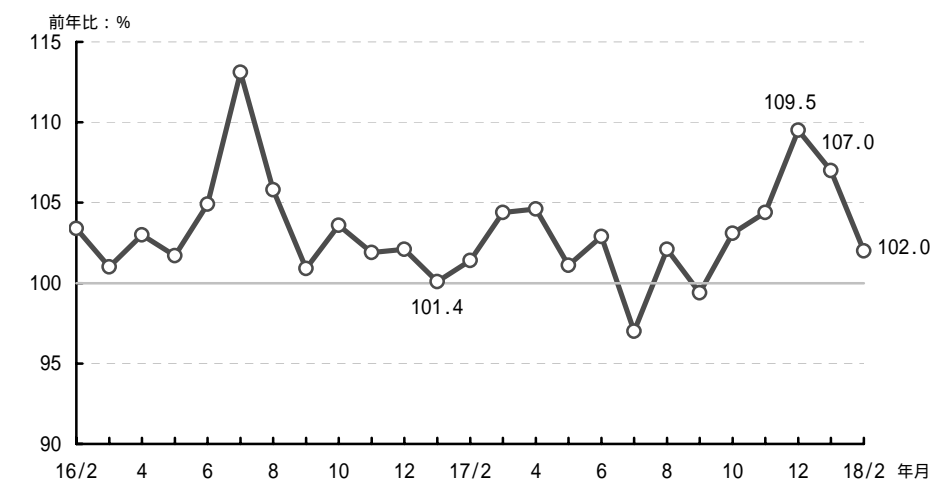
需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	895	101.7
	電 力	191	95.9
	計	1,086	100.7
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	466	101.2
	産業用電力	803	104.5
	うち大口電力	(615)	(105.8)
	計	1,269	103.3
販売電力量 計		2,355	102.0
融 通		409	62.5

注1. 特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。
 2. 17年4月より自由化範囲が拡大されたことに伴い、16年度以前の需要区分と一部異なる。
 前年比は、前年同月の実績を現在の区分に合わせるにより算定した。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		18/2月	18/1月	17/12月
紙・パルプ	109	111.7	116.7	111.4
化 学	129	107.7	103.1	104.0
鉄 鋼	78	97.5	87.3	95.8
機 械	128	106.7	106.6	107.4
そ の 他	171	104.4	103.8	105.1
合 計	615	105.8	103.9	105.1

(参考2) 4県都平均気温

()

	18/1月				18/2月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	4.7	7.2	6.0	6.0	5.2	7.4	9.3	7.2
平年差	1.7	1.5	0.7	0.2	0.1	0.9	2.8	1.1
前年差	1.0	1.0	0.4	0.1	0.2	0.3	3.9	1.2

供給の概要

- 原子力は、定検の影響により前年比111.2%となった。
- 水力は、前年比103.6%となった。
- 火力は、原子力の増加や融通送電の減少などから、前年比81.2%となった。

供給実績

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比	備 考
原子力	(37) 1,089	111.2	出水率 148.8% (17年2月出水率 140.5%)
水 力	(7) 200	103.6	
火 力	(56) 1,657	81.2	
発受電計	(100) 2,946	91.7	
その他	0		
供 給 計	2,946	91.6	

注.()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(101.3) 539	(98.3) 386	(102.9) 813	(104.1) 617

注.()内は前年比